

皆さん、おはようございます。日本国総領事の島田です。本日は UNAAV(オーストラリア国際連合協会ビクトリア支部)によるオンライン日本語模擬国連の開会にあたり、少しお話をさせていただきます。

私は今年の1月末にメルボルンに着きました。メルボルンには初めて来ました。メルボルンは古き良き伝統とともに、新しい未来を感じさせる緑豊かな素晴らしい街だという第一印象を持ちました。

私はこれまで外交官として、東京、ワシントン D.C.、北京、ジャカルタで仕事をしてきました。40年ほど前まだ大学生だった頃、初めて訪れた外国の地がシドニーでした。それ以来、長い間憧れていたこのオーストラリアで働くこととなり、大変嬉しく思っています。

今日の模擬国連では環境保全、特に海洋保全について議論すると聞いています。日本は海に囲まれた島国で、古くから海洋国家として栄えてきました。海は日本にとってとても大切な存在です。海のもたらす様々な恵みに感謝の意を込めて、日本では「海の日」を国の祝日に定めて祝っています。この豊かで自由な海を守り、将来へとつないでいくことは、日本だけでなく、世界中の人々にとって重要な使命だと私は考えます。

今日は高校生の皆さんが、このようかけがえのない海について、しかも日本語で議論すると聞いて大変うれしく思います。これからも日本語学習を通じて、日本そして世界についてより理解を深めてもらいたいと思います。日本や世界をよく知ることで、皆さんは自分の国オーストラリアについてももっと理解を深められるだけでなく、これまで気づけなかった発見や見方もできるようになるのではないかと思います。

また、日本とオーストラリアは自由で開かれたインド太平洋の発展のため、特別なストラテジック・パートナーシップとしてより一層協力できるということを確認しています。

現在、新型コロナウイルスの影響で日本をはじめ海外はもちろん、オーストラリア国内でさえ自由に訪問できない状況が続いています。しかし止まない雨がないように、いつか必ず日本にまた行ける日がきます。夢と希望をもって今はがんばってもらいたいと思います。そして皆さんには、今日の模擬国連でも世界の人々に夢と勇気を与えるような実りのある会議になることを願っています。

これをもって開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。